



第 18 号

平成 28 年 5 月
会長 岡本 諒

平成 28 年度 第 40 回定期総会開催

盆踊りの当番年 役員に初の大学生

平成 28 年度定期総会は、4 月 17 日（日）北野連合会館にて開催されました。今回は、当自治会が昭和 52 年の設立総会以来、40 回目となる記念すべき総会となりました。

冒頭、去る 4 月 14 日熊本地方に発生した地震による被害者に黙祷が捧げられた後、総会は定数 319 名のところ、出席者 76 名、委任状 183 名、合計 259 名で成立。早速、議長に上地和男氏（2 区 10 班）が選出され、議事審議に入りました。議案の平成 27 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、平成 28 年度事業計画（案）、収支予算（案）役員の選任（案）について、いずれも賛成多数で承認されました。



役員は、各部長がいずれも留任。また、創立以来初めてとなる大学生の役員として、総務部に佐藤亜美さん（2 区 4 班）が就任し、新鮮な若い力の活躍が期待されます。

また、会長から「今年は、中央自治会が 4 町合同盆踊りの当番幹事になっております。多くの皆さんのご参加をいただかなければなりません。たくさんの方に参加いただき積極的に踊りの輪の中に入って盛り上げていただきたいと思います。」とのお話がありました。

なお、特別会計において、資源回収金がこのところ回収量の減少もあり、年々減少傾向にあることから、なお一層の協力方の要請がありました。



また、会場には熊本地震被災者への募金箱が設けられ、8,800 円の善意が寄せられ、義援金は、まちづくりセンターを通じ、日赤に送金されました。

引き続き、同会場で懇親会が行われ、会員の交流を深めました。



第 40 回定期総会に当たって

北野中央自治会 会長 岡本 諒

私たちの北野中央自治会は昭和 52 年 10 月に第 1 回の設立総会を開催し、今年の総会は回を重ね 40 回目を迎えることが出来ました。当初は 88 世帯で発足し現在、320 世帯程の規模となり、他に誇れる活動を行っております。これも歴代会長はじめ各役員のご尽力、そして会員の皆様の協力によるものと存じます。

この一年間、私たちは、「住みよいまちづくり」をめざして自治会活動を展開し、特に「福祉」と「防災」を重点的に取り組んでまいりました。

お陰様で平成 27 年度事業計画は、予定通りに実施することが出来ました。特に地域の宝である子供たちを中心とした「七夕まつり」や「ラジオ体操」、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に「合同クリスマス会」も子供たちの素晴らしい笑顔が溢れる楽しい会になりました。

会員の皆さんや、班長さん、役員の皆様にご理解とご協力をいただいたお陰と心より感謝しお礼申し上げます。

また、1 月に実施しました「家族構成調査」は調査対象 314 世帯中回収 280 世帯でした。(回収率 89.2%、調査開始以来 7 世帯が無回答 累積回答率 97.8%)

結果 全世帯数：319 世帯（調査対象は 314 世帯、長期不在など 5 世帯）

人口：835 人（約 850 人） 1 世帯平均：2.62 人、高齢者：354 人（高齢化率 42.4%） 高齢世帯：111 世帯（34.8%）、独居世帯：30 世帯（9.4%）

高齢化は決して悪いことではありません。むしろ誇れる事と私は思っております。

但し、そのためには、元気に年を重ねていかなければなりません。人との関わり、無理しない程度に体を動かすことも必要です。自治会や、せせらぎ会等にも積極的に参加し、「絆」を深め、地域社会と積極的にかかわりを持つ人ほど、健康度が高いという統計資料もあります。

4 月 14 日以降、九州熊本を中心に地震が連日発生し、犠牲者も出ております。

東日本大震災から 5 年が過ぎ、防災意識も薄らいできていた時期だけに、「何時何処でどのような形で起きるかもしれない災害」に対し、改めて防災意識の高揚と、日頃からの準備と心構えや、地域住民同士の助け合い「絆」の重要さを、改めて感じさせられました。

今回、防災用テントの購入を総会でご承認していただきました。

「小さなおせっかい」をお互いにしあって、私たちの故郷北野を「住みよい安心・安全な街」にするため、平成 28 年度も活動を進めていきたいと思っております。

今後ともご協力をお願い致します。

第 1 回役員・班長会議

第 1 回の役員・班長会議は 5 月 8 日（日）北野連合会館において開催されました。自己紹介のあと、会則により、会長から相談役及び福祉推進委員会委員長の委嘱があり、別表の方々に委嘱状が手渡されました。

続いて、各部及び班長の業務内容の確認と、今年度の行事内容、役割分担について説明がありました。

会長からは、

1. 特に班長への 3 つのお願いとして

① 各事業への積極的な参加とスタッフとしての活動協力。

② 高齢世帯が多いことから一人ひとりが福祉推進員になったつもりでの見守活動。（小さなおせっかい運動）

③ 教育、防犯の効果もあることから、町内での声掛け、あいさつの励行。

2. 4 町合同盆踊りについては、今年は北野中央自治会が当番幹事に当たっていることから、成功させるための協力要請。実施日は 8 月 13 日（土）。

3. 町内会会費は昭和 62 年以来値上げされておらず、財政的に年々厳しくなっており、節約していかなければならないことをご理解願いたい。

とのお話がありました。

総務部長からは、

1. 経費節減のため、定期総会資料を平成 29 年度から、役員の手作りで作成したい。「会則・内規集」と「会員名簿」については 3 年毎に作成し、変更があった場合は、その都度さわやか青空便でお知らせする。これにより毎年約 10 万円節減できる。との提案があり、承認されました。

2. 資源回収については、年々減少傾向にあることから、まだまだごみステーションに捨てられている新聞のチラシやアルミ缶は、資源物として回収したいものですし、例えば、買い物時に、買った品物をダンボールに入れて持ち帰るなど資源回収量を増やす方法は、日常生活の中にまだあると思われるので一層のご協力をお願いしたい。との強い要請がありました。

その他、キツネが出没していること、猫などペットの糞尿で迷惑をしている人も多いため、飼い主さんのマナー向上を求める意見もありました。

※ 下表のとおり変更がありますので、会員名簿及び総会資料 14 頁の世帯数を訂正してください。（敬称略）

新会員	1 区 1 班	伊東敏明	〇条〇丁目		4 月入居
	2 区 9 班	堀内るり子	〇条〇丁目		5 月入居
変 更	2 区 12 班	佐々木睦久	電話番号		
訂 正	2 区 3 班	黒田新一	住所 枝番号		

活動紹介

交通安全指導員

4月、新学期が始まりました。大きなランドセルに交通安全の黄色いカバーを付けた、ピカピカの1年生も元気に登校しています。

児童・生徒の通学路交差点には、いつも子供たちをあたたかく見守っている交通安全指導員の皆さんがいます。

北野中央自治会からは、北野通り交差点に原田元昭さん（1区6班）が、4条3丁目交差点に織田光穂さん（2区7班）が、また、北野平小学校区では、立野外蔵さん（上北野町内会）、間澤五三男さん（南北野町内会）、水野寛治さん（北野新和町内会）が登校日の毎朝、7時40分から8時20分までの間、子供たちが安全に通学できるようにと、交通指導に当たっておられます。

交通安全指導員は、札幌市交通安全運動推進委員会会長（市長）が委嘱、登・下校時の交通指導や交通安全運動等のボランティア活動を行っている制度です。

また、札幌市交通安全運動推進委員会は、昭和37年（1962年）に札幌市議会が全会一致で採択した「交通安全都市宣言」に合わせて、市民とともに交通事故の撲滅に取り組むために設立された団体です。

指導員をされてから、原田さんは10年、織田さんは6年、毎日のことですから本当に頭が下がります。

指導に当たって、気づくことは、一時停止線で停止しない等交通ルールを守らない人が多く、注意すると逆に文句を言うなど、心無い人もいるとのことです。しかし、子供たちの笑顔と明るいあいさつに、元気をもらい励みとして活動しているとおっしゃっていました。

ただ、お二人とも、ご高齢になられており、どなたか後を継いでくれる人がいてほしいと願っておられます。



原田元昭さん



織田光穂さん

編集者 広報部 荒木貞一